

エスペラント ★

Verda Placo 2017 aŭtuno

みどりのひろば 2017年 秋

N-ro 40

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



dianto kaj kosmoso (fotis TADA Ryuji)

峰芳隆さんをしのぶ会に参加して

稲田正昭

しのぶ会は10月1日(日)13時半から神戸市青少年会館の研修室で(5階)で予定通り執り行われました。

前日までに予定されていた参加者は28名。しかし、当日の参加者は大幅に超えて38名となりました。近畿地方の多くの Rond から31名、個人参加2名、他地方では福井県、山口県、宮城県、東京都から各1名参加した。神戸新聞記者も参加した。

他にメッセージ1通もありました。会場は正面に大きなエスペラント旗を上げ、正面右側に白色の花のアートが静かに飾られ、シューベルトの“ます”がBGMとして流されていた。司会者の中村氏(はりまエスペラント会)の黙とうの言葉から始まり、KLEGA会長の田熊氏の開会挨拶の後、追悼の言葉をエスペラント関係者、神戸新聞記者、メッセージの代読者を含め15名の多くの人々が発信してくださいました。

追悼の言葉を聴き、峰君のエスペラント活動は多方面に渡っており、多くの人々から尊敬され、信頼され、愛されていると思いました。追悼の言葉の中程で10分程度のお茶の時間を取りましたが、その間に峰氏の幼い頃から結婚式、種々のエスペラント活動、闘病生活などの写真をプロジェクターで投影し紹介しました。追悼の言葉の後は峰氏の奥さんの御礼の挨拶、私の閉会の挨拶、La tagigoの斉唱で終了しました。約2時間15分のしのぶ会でした。

はりまエスペラント会の皆様、私達は本当に偉大な人を失いました。これからは、はりまの地のエスペラントを枯らさないように、より力を合わせていきましょう。



La 102-a Universala Kongreso en Seulo に参加する

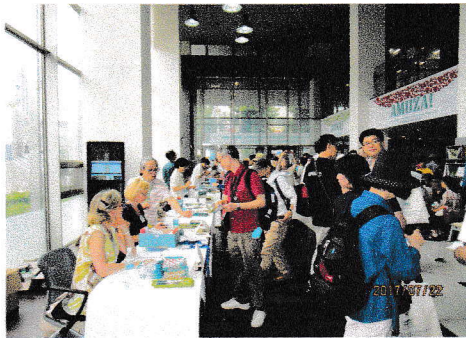
多田龍二

1日目 sabato,22 julio

とうとう、来てしまった。不安が恐怖にもなりそうだ、乗りかかった舟、どうにでもなれー 家を7時に出て、新快速で三宮に行き、バスで関空に行く。

9:55 関空集合だ。関空発 11:55 KE2726 便、ソウル着 13:40 時間通りの到着。 入国手続きをすまして、専用バスに乗り込む、一旦、ホテルに、荷物を下ろして、HUF S (韓国外国語大学) に向かう。大会への参加手続きだ。 前もって換金してくれていた、1万円→94,000ウオンド。うち20,000ウオンを地下鉄用カード (Seoul MICE Card)に入れる。カードはバス、タクシー、コンビニなどにも使えて、重宝した。特にホテル、大学側のセブンイレブンには助かった。ホテルは仁寺洞クラウンホテル・インサンドで、神戸の中道さんと同室だ。夕食はホテル近くをぶらぶらして、結局 冷麺 (肉付き) とビールを取った。

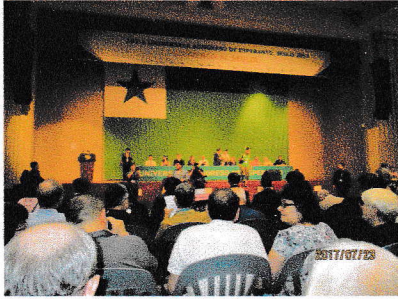
Statistiko : 1129名、61landoj (事前登録のみ)



2日目 dimanĉo,23 julio

今日は朝からあいにくの雨だ。午後には回復するようだが、大変だ！ 7時から1Fの朝食は解禁だ、すでに、数名のメンバーが待っていた。バイキング形式だ、ロビーに8時は半集合して、各々地下鉄で大学まで行く。歩いて7分に地下鉄駅がある。8駅目の外大前で降りる、歩いて5分、全行程で30~40分程度。

* 10:00-12:00 Solena inaŭguro (開会式)



昼食は学食でチキンバーガーを食べて、キムチは食べ放題、
これがまた美味しい。2,500ウオン (250円)

* 15:00-17:00 Filmoj: Teo kaj Amo

18:30 学食で夕食を取る、磯貝、塚本一緒に次のプログラムまで2時間ある、街にぶらぶらと一人でコーヒー飲みに行く

* 20:00-22:00 Nacia Vespero

韓国の歌、舞踊、武道などを紹介

帰りに、セブンイレブンでビールとつまみを買って、ホテルに帰った。
なんと、アサヒスーパードライ 350ml も 500ml も 3,000ウオン (300円) 同額！何となく得をした感じです。(中道さんに教えてもらった)

3日目 lundo, 24 julio

朝食をすまし 7:30 にはホテルを飛び出した。会場に 8 時に着いた。

* 9:00-10:30 Kleriga Lundo-Aikido

* 12:00-13:00 Filmo: Plena Rondo

* 13:15-15:15 Komitata Forumo-Membreco kaj kotizoj

* 16:00-18:00 Korea kulturĉambro

昼食は学食 (ブルコギ)、カップコーヒを飲む。

食事をしながら #935 小沢満明 (Ozawa Mituaki) さんと話した。

彼は「エスペラント語と絵で味あう八木重吉詩集」を編纂した。

夕食は磯貝、中道、塚本、西森 5 人でチヂミを食べに行く。

帰りにはコンビニによって、ビールとつまみを買う。



大ホールは「オバマホール」を使った。
2012.3.26 この場で演説する。

4日目 mardo,25 julio

今日も早く朝食をすました、飛び出した。今日一日、Ekskruso だ。

*9:00-17:30 KSZ kaj Imjingak

必ず、パスポート持参、バス内でチェックあり、事前に個人情報提示している。板門店に入り、緊張した。一切、撮影は禁止。第三トンネルを約1キロ下りると、10×30Cm の穴があり、向こうがもう北朝鮮だ。北朝鮮が秘密に掘った。ケルン工業団地を見学し、韓国（ソウル）からヨーロッパまでの弾丸列車の構想その出発駅を見学した。そこで、昼食を取った。バイキング形式で、子供たちの見学とあいまって、騒がしかった。

#319,611 梁池ご夫婦と一緒に食事をした。



ホテルに帰ると夕食を待っていてくれた。生きたタコをその場で調理、後でご飯を入れてリゾート風においしかった。一人10,000ウオン

右からの河内（ガイド）、染川、笹沼、中道、浮田、多田

5日目 merkredo,26 julio 大会休み

私は、朝食をすました、飛び出す。みんなはゆっくりしているようだ。

*9:00-17:30 Korea Folkloro Vilaço kaj Fortikaĵo Hwaseong

バスの隣に座り、日本の印象を色々と話してくれた。

#519 S-ro Miroslav Valášek (Slovakio)が食卓に招いてくれた。

他は Finnlando, Japanio で S-ro Nikki どこにも所属しなくて、独学をしながら、世界大会に参加することを楽しみにしているそうです。食事の後は韓国民俗村の見学、時間まで、広いテーマパークをうろうろと歩き回った。馬術、昔の結婚式など、アイスクリームをたべながら楽しんだ。
<次号に続く>



23日の開会式の状況がソウルのテレビニュースで放映された。バッチシ写っているではないか。Young-Long Kim さんから Ricko Hugximoto に Face book で連絡あり、アップした。

<はりまエスペラント会の皆様へ>

* 10月29日(日) 10時～15時

第22回ひめじ国際交流フェスティバルに参加します。

会場：姫路城南側、大手門広場にて

世界各国の料理の販売をはじめ、踊りや音楽の披露、外国講座など多彩な内容です。多数の参加とご協力をお願いします。

* 12月16日(土) 午後1時～5時

はりま・神戸合同エスペラント祭を開催します。

会場：神戸青少年会館5階研修室

(JR・阪急・阪神・三宮駅から東に徒歩5分、中央区役所西隣)
年に1度のお祭りです。少し足を伸ばして、参加しませんか。

この日は「本の日」です。手に取って、確かめながら、また、新しい本にも出合えます。1年分のエスペラントの書物、学習書お手に入れましょう。今から準備をしてください。

前もって連絡をいただければ、当日お渡しできます。

出口京太郎先生のこと

馬場祝栄

出口京太郎先生は私にとって、偉い先生で雲の上の先生のような存在です。二十歳のころに読んだ”エスペラント国周遊記“はとても面白く私もいつかこんな風に外国へ行って見たいなど夢見ていました。私がエスペラントを勉強し始めたころ、機関紙などで出口京太郎の名前を見たら、旧知の人に出会ったようにうれしく思った事など思い出します。ところが今日 JAL の機関誌 10月号に載っている記事～私のエスペラント人生～を読んでびっくりするやらおかしいやら、今までの出口京太郎先生のイメージが崩れてしまいました。少年時代は好奇心旺盛で腕白な悪がき。したいと思った事は何でも実行。新聞配達やアイスクリーム売りなど、よくまああの大本の若様がやりますこと、それを自由にさせている母上三代様の心の広さにも感心しました。一番驚いたのは高校時代の英語のカンニング事件です。今では時効ですが（笑）エスペラントの勉強も小さいころから、自然にしていたかと思っておりましたが、かなり反発していたようで、大人になってから、それも友人やら仕事の上司からすすめられていやいやしていったとのこと、びっくりすることばかりでした。現在はエスペラントは”天からの贈り物“として一人でも優れたエスペランチストを生み出したいと、最後に結んでありました。私は現在、大本から離れていますが、私も”エスペラントは天からの贈り物“として受け止め次の世代へバトンを手渡せるように、努力しないといけないと思いました。具体的にどう行動すればいいかわかりませんが。

<トピックス> 10月9日（月）神戸新聞・朝刊掲載文 引用

ポーランドの眼科医サメンホフが考案した国際共通語エスペラント。今年にはサメンホフの没後100年、エスペラント発表から130年に当たる◆そんな節目の年、一人のエスペラントが亡くなった。峰芳隆さん享年75。高砂市に住み、はりまエスペラント会の設立に尽くした◆取材で出会ったのは4年前。ライフワークの一つ「日本エスペラント運動人名事典」（ひつじ書房）が完成した時だった。すでにがんで闘病中だったが、有名無名のエスペラントたちについて、敬愛と情熱を込めて語る姿が忘れられない◆先日開かれたしのぶ会には全国の仲間が駆け付けた。最期まで言語格差の解消を願っていたという峰さん。その志を継ぐと、声を合わせて歌ったのはエスペラントの曲「ラ・タギージョ」、夜明けを意味するそうだ◆ポーランドの歴史は近隣強国による侵略と分割の歴史。自由と平和を希求したサメンホフが可能性を見いだしたのは、武力でなく言語だった。そこから生まれた連帯の絆は、今も確かに息づく◆「エスペラントは国や民族を越え、人と人をつなぐ」。峰さんの言葉だ。国のリーダーたちが「対話より圧力」と息巻く中、平等な言語でつながり合おうとする人たちの理想がまぶしく見える。 2017.10.9

学習例会の記録 Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

<姫路：イーグレ第4会議室> 学習例会は午後1時半～4時

8月24日(木) 中村

9月20日(木) 中村、馬場、大前、山岸

CDエクспレス, “KARLO”、学習検定問題、歌

<加古川：生活創造文化センター> 学習例会は午後1時～4時

期間中 休会

9月12日(火) 故峰氏の偲ぶ会打合せ 稲田、塚本、馬場、多田

<Skajpo> 学習は毎週水曜日 20時～21時

8月2, 9, 23, 30日 9月6, 13, 20, 27日

10月4, 11, 18日

延べ44名、12.75時間

Pri “la makulita bendo” Aventuroj de Ŝerloko Holmo “

今後の予定 Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

11月26日、11月30日(ボランティア室13:30-)、12月21日

★加古川 (午後1時～4時, 生活創造文化センター「かこむ」)

エスペラント入門コース継続都度予定、第2、第4土曜日曜

“「ドリル式エスペラント入門」抜粋使用

★Skajpo (毎週水曜日 20時～21時)

ネットの” Aventuroj de Ŝerloko Holmo “ボヘミヤの醜聞” 使用

編集後記、：はりまとKLEG共同の故 峰さんの偲ぶ会が開かれました。大変残念なことです。われわれ、峰さんの遺志をついで、エスペラント活動にさらに広く、深く進めることが、大切かと思えます。ご冥福をお祈りいたします。102aUKの記事を掲載いたしました。神戸新聞に峰さんとエスペラントのコラムが記載されました。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro40 2017年10月20日

発行：はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内106-3 稲田正昭)

編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp